

## 国際会議から

## 第14回磁性理論・磁性材料および応用磁気 合同国際会議 (MMM-Intermag 2019)

Joint MMM-Intermagは、二つの国際会議MMM(Conference on Magnetism and Magnetic Materials)とIntermag(IEEE International Magnetics Conference)が合同で開催される国際会議であり、3年に1回の周期で開催されます。本国際会議は磁気に関する技術分野を対象とし、その範囲は材料・物性関連の基礎分野から電気機器関連の応用分野まで多岐にわたります。14回目にあたる今回はワシントンDCで開催されました。

電気機器関連の発表の中ではモーターが大半を占めており、その用途として多かったのは電気自動車でした。既存のモーターに対して新たな工夫を加えた新構造のモーターの提案をしている発表も多数見受けられました。既存技術とは異なる新しいものを生み出そうという意気込みが会場全体から感じられ、自由で斬新な発想があふれていました。

筆者はMotors Applications, Actuators, Shielding and LevitationのOral Sessionで超電導磁気浮上式鉄道の磁気浮上の研究に関して発表しました。本国際会議において、磁気浮上の発表はごく少数でしたが、当該セッションでは、筆者の発表時も含め、活発な質疑応答が行われました。

滞在中のワシントンDCにおいて、降雪はなく、車道や歩道はすでにおおむね除雪されていましたが、それ以外の場所には雪が残っており、スコップで雪かきをしている人も見かけました。外国においても除雪の苦労は変わらず存在していることを改めて認識しました。



国際会議会場  
(Marriott Wardman Park Hotel)



雪の残るワシントンDCの街並



米津武則

浮上式鉄道技術研究部  
電磁システム研究室  
副主任研究員

正式名称：2019 Joint MMM-Intermag  
Conference  
開催国：アメリカ合衆国  
(ワシントンDC)  
期間：2019/1/14-18  
主催：AIP Publishing, IEEE  
Magnetics Society  
開催頻度：3年に1回  
次回開催予定：2022年1月  
アメリカ合衆国  
(ニューオーリンズ)  
ホームページURL：[https://magnetism.org/  
past-conferences](https://magnetism.org/past-conferences)